（第二版）（京濱版種）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十一年十一月二十日　臺灣日日新報社　（金曜日）　第一万三千百六十六號

臺灣昌榮新聞
十一月十九日
夕刊
題號一部一價定刊
夕刊　木々佐　人行發會組織
北臺灣成市日日町番地
發行所　臺灣日日新報社

陸相出席問題

打開工作に政府が乘出す

翰長、兩院議長を訪問

【東京十九日發】議會制度調査會の陸相出席問題に關しては政府は其の取扱ひに關し頗る苦慮し、政策遂に軍部の對立せる形勢を出來る限り緩和して圓滿打開策の發見に努めてゐるが、廣沼書記官長は十八日夜廣田首相の意を體し近衛、富田兩樞密院議長を夫々官邸に訪問し實現を後ひた、右は政府が飽々機會的に打開工作に乘出したものであつてこの會見は極めて重視されてゐるが廣沼書記官長は右會見において政府の苦衷を披瀝し助力されたいと懇請したがこれに對し近衛、富田兩議長に何れも政府の意のある所は諒解したが問題の重大微妙なるに鑑み慎重的考慮をなす旨意見を述べた

確執漸く解消か

兩院側委員と陸相の懇談會を各別に開催

【東京十九日發】議會制度調査會の陸相出席問題に關し政府は政策の強硬な出席要求と陸軍側の絶對出席の要求との間に挾まれ苦境に立ちその打開策に苦心中であつたが、十九日午前廣沼書記官長は近衛、富田兩議長と會見の上打開策に關し懇談を遂げた模樣であるが、兩議長は午後二時三十分頃田民政黨總務總出で陸相官邸を訪ひ右會見の經過を報告し善後

輸送用の トラック出役を拒む

丸益運送店の非國民的言動は 州民の赤誠を汚す

丸益運送店主談

申し譯がない

丸益運送店主飯塚氏は語る

誠に相済みません、私が十八日夜八時頃市公會堂に開會中の新竹州下の人人が州をあげて擧國一致の聖戰を翼賛するために國防獻金の趣旨徹底講演會を開催されつつあるその會場に出席中、突然、當店の自動車が出動して、輸送用トラックの徴發に來たとの報告を受けましたが、私は當時會場に於ける講演に感激して居りましたので、その儘會場に止まつて講演を聽いて居りました、その間に

御殿女中

（其十四）

神保圃世画

途上（六）

江馬元二作

「まだ半時くらひは間があるものと思つてゐた縁が到着したと聞いて、あわてよためいたのは、獨り目ばかりではなかつた。おこそは二円の声を聞くと共に、脆兎のやうに敷居の際を跳ねると、本堂を指して突進した。

「よよ、飛んだ狼藉者の御入來だの。まづいことつち道來ることにきまつてゐた者が來たのだ。直ぐにここへ連てまいりました。」

「はい、かしこまりました。」

一円はそのまま廊下を本堂の方へ駆出した。

「おころの処へ、縁村と聞いて、逃路になつて居やうが捕まへるがよいわい。」

「もし、日雇屋」

廊下から聞えたのは縁村の声だつた。

「おおこれは御中老でございましたか。ようこそお運び下さいました。自ら立つて開と敷居を開けた日雇は、如何にも殿様らしく頭を下げた。

「どうぞこちらへ。」

「御遠慮なりませぬ。」

ぴたりと障子を締めて。——

「御中老」

「日雇様。會ひ度うございました」

「會ひたい思ひは、お手前ばかりではござらぬ。しかし、よく道を忘れずに來られたのう。」

「忘れまするお日の恩。いとしいこのお寺の道を、何んで忘れてよいものか。」

「上野への御代參と聞いて、実は先廻から、自分も見え隠れして待つてゐたのだ」

「それやほんとでございますか。」

「嘘に云へることではあるまい。しかしこゝ半月ばかり會はなんだうちに、御老年になられたの。」

「お嬉し下さいましな。わたしこそりお目通こそ、恙のやうな美しさが、憎いくらひに艶々しく。……きつと毎日御殿の見廻やお末衆への御手當で、お忙しいことでござんそうねえ。」

「忙しいな。日雇近衛守の身分の外には、一切御殿を断つて、死ぬまで獨身で通けて居ります。何んで他に所帯をしてゐよう。それを思ふと氣の毒なは、お前ぢや。」

「ふふふ、何んだと思やそのことか、そりやアたつた今、本堂に落ちてゐたと云つて小僧が持つて來た。」

「なに、嘘ー」

日雇は如何にも不思議さうに首を傾げた。

「御代參の帰りに、縁村が拾つた嘘の上に殿様を落した。

「スタヂオは私がカミイルを演ずることをいい強つて踏ませんカミイルは悲劇的人物なので、このことは私の心を弱かすので、でも……外に脚本がなかつたので私は同感しなければなりませんでした、時に私たちの誰かどんなに重大であらうと、無感覚であらうと私たちを信じられないことをしなければならないものです、何故といつてサインの一切はまつ大衆服のつたのでした、快くなるやうなここよりもカリフオルニアの日を浴びた方に勝りはもつと遠かつたことでせう、私の関者は私にきまつた食事を與へ、どうすれば私の生活を調整するかを命じました、しかしどういふものかそれ大して役立ちませんでした、尤も私はいはれた通りにしましたけれど、私は少しも良くなつたとは感じません

×

人はハリウッドにゐた数年間私が暮したやうに遠く暮した時人からゆるものをみた時、あらゆる誘惑を感じた時、離婚を求める外何も残されてはゐません、私は本當に孤獨でゐないのです、世間の人々は私の服装に向つて私を名聞と結びつきました、この表現は私の全く本質なのです、人は時折居ることをする少数の良き友を持つてゐるならそれだけで滅山です、それは私の欲するすべてです

私は戯劇がとても怖いのです、私がアメリカに初めて來た時私に大して注意を拂ひませんでした、私は好きなやうに來ては行くことが出來ました、今では私が列車から一歩歩み下りたり、公衆のゐるところに出掛ける時人々は看板がけてどつと突進して來るやうに思はれます、私はひどく神経質になり、恐怖症にかかりました、そかしく思はれるかも知れませんが、私の一番最初の思ひは逃げて隠れたかつたのでした、私は「カミイル」を終へたら、おそらく帰郷することでせう、私はビーグアリイ・ヒルに家を造つもりでしたが、私それを思ふと氣が變つてなりません。

×

ガルボがから當時終つた時彼女の眼の線には淡いきらつと光んでゐました、彼女はとても疲れて、彼女に生れ、そして生活的な感情を感じるスエーデンに帰りたがつてゐるのです、ガルボの生涯の本當の戀は遂げてしまひました、ジョン・ギルバートは死にました、ルーベン・モウリアンは親しい友以上の何ものでもありません、ジョージ・アレントは殆んど二年間ガルボに、彼の戀愛を受けいれたことを認めてゐます、ガルボ自身は彼女を彼女のストイックな落ちつきから引出せるものはゐう一人もないといつてゐます

ハリウッドはガルボが戀愛がつてゐます、スターたちの多くは當分彼女が銀幕から引退する決意に驚き、驚嘆してゐます

靜寂と孤獨を憧れる
グレタ・ガルボ（下）

☆彼女の一切の戀は失はれた☆

何故つて私の病気は將來の見透しのつかないせゐとです

私がもう外の映畫を作らないだらうと私はいつきりいへません、といふのは誰も私に何をするだらうといへますかしかし私はハリウッドで「カミイル」の後で外の映畫に関するプランを全然立ててゐないといふことです

おう、永い間に感じ、私の國の美しい風景の間を歩き廻つたり、散歩したり、思索したりすることはそれいいことでせう、これらの單純な愉しみこそ彼の立派な友達は私が今求める生活の一切なのです」——

音樂
名曲レコード鑑賞の夕

二十日夜國際會館で

YMCAレコード・クラブでは來る二十日午後七時から國際會館に於て發會式をかね、小澤征爾解説の下に、個人所有の名盤鑑賞會を行ふが、當日會員は勿論、一般來聽歓迎すると、同會には後世月、各紙の音樂記者、名盤所有、器樂声樂に堪能組織された教育及び演奏家に對し、會員として、

名家敗退將棋

（七其）

六段△平野信助
六段▲飯塚勘一郎

（画面）
（駒符氏名）
（盤面）

大歩▲五六　大桂▲四二
▲飯塚六段二四歩　同歩　二五桂　同歩　五七桂　同歩　五六歩　同歩　三四歩　同歩　五五桂　同歩　五六歩　同歩　三四歩　同歩　五五桂　同歩　五六歩　同歩　三四歩　同歩　五五

陸相出席要求問題
政府極力謀打開
書記官長懇請兩院議長

東京十九日電。議院制度調查會。陸相出席要求問題。政府頗爲苦慮。政黨亦感苦惱。政黨位置問題之聲和。求與滿打開案。驛沼書記官長。十八日夜來訪田首相之叩。造近衛。富田貴族院議長官舍。重要懇談。政府已積極的進出打開工作。此會見極難微妙。不積極的發言。

兩院出身委員
與陸相各別懇談

東京十九日電。對議院制度調查會等內陸相出席問題。政府以政黨方強硬要求出席。及陸軍一邊拒否的態度。頗立于苦境。正爲苦心于打開策。十八日午前。由驛沼書記官長與梅津陸軍次官會見。陸軍側緩和從來態度。兩者間調查會兩院出身委員。與軍部與政黨之確執。打開等內陸相問。以兩院各別開非公式懇談會。因得陸相出席之妥協的處理方法。同夜驛沼書記官長。對副會長近衛。富田兩議長。就懇談會開會。宗讀辭旋。因而富田來議院議長。是夜九時二十分。訪町田民政黨總裁。協力會總務。於情傳達。交涉結果。政民兩黨。決于十九日協議後回答。而對衛貴族院議長。赤檮議長。驛沼書記官長所言如是交涉工作。于十八日。意外好轉。俟。于年內實現、

國防費查定峻嚴
陸海軍強求復活
藏相與兩相將猛烈折衝

東京十九日電。目下大藏省一暗中交涉之陸海軍國防費增。因大藏省主計局查定。意外峻嚴。陸海軍當局。究不能答諾。對主計局提出强硬復活要求以此條參推之。二十四日之豫算閣議。若拘泥于事務解決。勢不能解決。之焦點。在于國債。十八日正式承認。西班牙令二十四日雖開豫算閣議。以國防豫算爲中心。料閣議相當紛糾。或至月末。馬場藏相。寺內永野陸海軍兩相間。爲猛烈政治的重加折衝。明年度。防豫算解決之焦點。在于國債。十八日正式承認。西班牙

德國承認
西國革命軍

伯林十八日電。德國政府一路飛向東京。

駐厦領事館
昇格祝賀
僑民濟濟列席

厦門特訊。駐厦日本領事館。自本月一日。昇格爲總領事館。去十六日午前十時、在鼓浪嶼大和俱樂部。舉行官民聯合祝賀會是日寓厦籍民。自午前八時半起、即乘居留民會電船。陸續渡鼓、到、者有山田總領事代理、竹村民會長。陳盛灣居留民會長及民、議員會員等。共四百餘名。與來賓朝顏屬逐艦長青木久次、聲諸土官臨席、刻到。首由竹村民會長。致祝開會。略謂今日我等在留官民一同。在此熱烈祝賀總領事館之誕生。衷義有二。其一爲多年夙望之陞格。茲見實現。其次爲現下國際環境。隣日本國力與地位之充實躍進。東亞二大國之日華兩國。益加緊密。事甚明顯。爲對來兩國親善提携上。及爲厦門之發展繁榮上。進而爲在東洋之國際關係調節與改善。確信能予以多大貢獻。此係堪賀之理由。但事關將來。其實現多待吾等各人。覺醒努力故吾等必須祝賀日本之盛

南北兩軍戰機愈熟
爭奪橫山大激戰
下午一時餘兩軍罷戰

東京十九日電。對議院制度調查會等內陸相出席問題。政府以政黨方強硬要求出席。及陸軍一邊拒否的態度。頗立于苦境。正值苦心于打開策。十八日午前。由驛沼書記官長與梅津陸軍次官會見。陸軍側緩和從來態度。兩者間調查會兩院出身委員。與軍部與政黨之確執。打開等內陸相問。以兩院各別開非公式懇談會。因得陸相出席之妥協的處理方法。同夜驛沼書記官長。對副會長近衛。富田兩議長。就懇談會開會。宗讀辭旋。因而富田來議院議長。是夜九時二十分。訪町田民政黨總裁。協力會總務。於情傳達。交涉結果。政民兩黨。決于十九日協議後回答。而對衛貴族院議長。赤檮議長。驛沼書記官長所言如是交涉工作。于十八日。意外好轉。俟。于年內實現、

國策綜合機關
年內實現

東京十八日電。廣田首相因四相會議結果。決定設置國策綜合機關。十七日夕刻。對三長官。命就新機關官制。組織。權限等調查審議。爲是三長官。于二兩日中。由法制局及調查局携集資料。協議審議方針。著手立案。念欲

內蒙行動
乃自發的
關東軍見解

新京十七日電。外蒙新疆之赤化。中國赤色分子之陰謀擾亂工作。內蒙被此等赤色勢力夾擊。德王逐厭起。斜內蒙各盟旗王族欲打倒山西綏遠方面之共匪。數日前已起軍事行動。又聞內蒙各盟旗王族宅。以瓦斯自殺。享年四十九。

左右兩翼抗爭犧牲
法國沙內相自殺

巴里十八日電。確認沙蘭魯內相自殺。公表如左。沙蘭魯內相。十八日以瓦斯自殺。

沙內相以瓦斯自殺者。乃因近來政界異變。異常衝擊。殊如人民戰線內閣。失社會黨出身支柱。爲之愕然。沙內相自殺、因最近右翼陣營對同氏攻擊激化。畢竟爲左、右兩翼抗爭之犧牲云。

巴里東京間
早廻飛機
從香港來京

香港十八日電。巴里東京間一萬五千粁早廻飛行之邁比、10、十八日午後四時五分抵香港。香港十九日電。當地一泊之邁比機。十九日午前五時二十五分。從香港出發一路飛向東京。

東山公學童
慰問將兵
鳩金近十一圓

員林郡東山公學校生、去十一月四日。當會中第三大隊將兵三百六十名行軍員林方面。見其勇敢在山地演習。十分感激。等思欲以安慰兵隊。乘今回全島。到處施行國民精神作主力之右側。又獨立飛行第一中隊。依然與支隊協力。

▲兩軍狀況。一、軍命令下午九時發金山面。軍主力若干。使左翼方面有利進展。占領第一線之梨頭官。熱心觀戰中。罷戰後少佐。相京少佐。鎌田副官。觀察竹東附近各工場。演習再時。視察兩軍戰線晚宿自治會館。荻洲參謀長。十八日朝。乘飛機視察兩軍支隊狀況。下午與軍司令官。共其行動。又午前十半。抵新竹驛之值

諸將星往來
熱心觀戰

畑軍司令官。十八日下午僧各部長。山內高級參謀林參謀。山本中佐。酒水少佐。相京少佐。鎌田副官。熱心觀戰中。罷戰後觀察竹東附近各工場。演習再時。視察兩軍戰線晚宿自治會館。荻洲參謀長。十八日朝。乘飛機視察兩軍支隊狀況。下午與軍司令官。共其行動。又午前十半。抵新竹驛之值賀飛行團長、僧吉村副官驅自動車抵橫山。與軍司令官觀戰。而統監岩守備隊司令官。忙于統監諸事。亦不見有疲勞。十八日朝乘馬往關西庄方面。視察北軍支隊狀況。正午在橫山高地。統監兩軍交鋒。午後五時、演習再與各官。共四百餘名。與來賓朝顏屬逐艦長青木久次、聲諸土官臨席、刻到。首由竹村民會長。致祝開會。略謂今日我等在留官民一同。在此熱烈祝賀總領事館之誕生。衷義有二。其一爲多年夙望之陞格。茲見實現。其次爲現下國際環境。隣日本國力與地位之充實躍進。東亞二大國之日華兩國。益加緊密。事甚明顯。爲對來兩國親善提携上。及爲厦門之發展繁榮上。進而爲在東洋之國際關係調節與改善。確信能予以多大貢獻。此係堪賀之理由。但事關將來。其實現多待吾等各人。覺醒努力故吾等必須祝賀日本之盛

興和陶林方面
綏遠軍續增援
綏遠軍據要地死守
計畫割斷平綏線
豫料內蒙軍突破音

捏造無根口實
川越張群交涉截止
不日外交部將發表

蒙古軍以燒夷彈
攻擊綏遠軍二十地

北平十八日電。紅培爾圖十七日戰報。蒙古軍第二師及燒夷彈等。攻擊綏遠軍第一師。及陳部。綏遠軍臨時兵舍多數燒失。

演習再興
北軍進軍
占湖口演習場

南北軍支隊龍戰後。各整備戰線。休憩至下午五時

羅東郡民
籌公會堂
工費按十萬圓

羅東郡民。爲計紀念業。目下由官民有力者籌備中。聞該工事費。大體按投十萬圓。新築羅東公會堂建物之構造。即筋十四間長十八間。總坪數有二百五十二坪之三層樓洋館。內容之樣式。即樓下可收容千人之廣場。二層爲貴賓室。右記之事業。若得具體化實現之時。得稱蘭陽第一公會堂。並將來羅東街昇格爲市時。亦可以利用議建物云。

徒賭五名
各處以罰金

內臺時差撤廢決定
部局長地方官贊成
要改正勅令自來年四月起

內臺間通信交通。愈見整令而制定者。故非如滿洲國及關東州。得以一片之告示。便能撤廢。關此物令改正手續。要費期日。及相當之準備期間。故來年一月一日起之實施。似當在來年四月一日。亦未可料云。

大甲郡下
產組競技

大甲郡第三回產業組合事務競技會。月十五日午八時五十分。開於大甲郡役所會議室。優勝杯退納。九時起十二時三十分至隊姑競技。第一產業組合海同頭庄、第二產業組合關係法首魯、第三產業組合法三

第四、算。採點結果。團體優勝杯賞。歸外埔信用組合。箇人賞一等陳志圭氏大甲。二等王克義氏沙鹿。三等柯介陣氏外埔。黃連科氏大安。徐泉氏清水

天候不良
圓糯價漲

二期圓糯。十二、十日限

爲課長缺員補充等
年內或有部分異動
森岡長官晋京車中談

森岡總督長官。五兩旬訪調而進。由臺灣一般會巡視島內。無暇澈淨旅塵繰入問題。實際爲開。臺灣反欲受入者。然終不能如是。諮問題解決時期。數名混入。有此特別事故當局。一般。

徒賭五名
各處以罰金

北平十八日電。於二二彈及燒夷彈等。攻擊綏遠軍第一師及陳部。綏遠軍臨時兵舍多數燒失。

興和陶林方面
綏遠軍續增援
綏遠軍據要地死守
計畫割斷平綏線
豫料內蒙軍突破音

北門郡豚肉競技
並品評褒賞授與式
五十天日平均長二斤餘

北門郡當局。主催之內課長或纖務課長。將由島內拔擢賦。

臺南市最終日
候補再出

既報臺南市州議員選舉戰斗六郡大埤庄役場。爲擴張管內墓地。去十八日午前十時。招集區委員並諸關係者。協議結果。決定以面積十二甲。增設七處。

初度巡視
人

▲佐治縣中州內務部長。訂來二十一日。初巡視彰化市役。

▲天津商報記者長李盛巳氏。搭十九日便輪歸去。

談
古樹中木胎

北平有梅姓者。前供職清室內務府某家客廳陳設品內。有木質嬰兒胎一具。手足交踏。鄧目紫親。與真形無異。云得自其親神機營當差服浪溝。先逝。廣宅院落。有古樹一株。時出怪異。廣心惡。命人伐去以絕其患。家人遂信神祠。多方諏。限不聘。比諏閒。中空一無所有。至近根處。此嬰兒胎。盤結其間。因取出作玩物。適爲所見。愛不釋手。原卽彰以相贈。其頭未如云云。

商況
十九日

▲米況前場

▲正米市況前場

▲期米前場

大阪期米前場

東京短期取組喰合

東京長期後場

東京短期前場

大阪長期前場

東京實行株

外國爲替

紐育株式

東京國債前場

大阪長期前場

大阪現物

大阪清算

砂糖

玖馬

肥料

シカゴ小麥

神戶對外爲替

神戶豆粕

倫敦

銀塊

外國金塊

大阪綿絲

大阪棉花

大阪人絹

橫濱生絲

一株式

大阪短期前場

5811580

皇國兵徴

お幸様の幸福を祝ふ
我社の保険

本社 東京日比谷
社長 根津嘉一郎

監督官庁 臺北市東門町一六四
監督官庁 臺南市大宮町一ノ六〇
監督官庁 臺北市明石町二ノ一

臺灣日日新報

昭和十年十月十日 木曜日 (旧暦九月十日) 第一万二千四百六十六號

本日夕刊共十六頁

発行所 臺北市日吉町芝山公園北側
社報日日新報社
電話 代表 一三八〇〇番 一三八〇一番 一三八〇五番
振替口座 臺北一〇番 一行 一行 一行
料金 前金 一行五銭 一行五銭 一行五銭
定価 一ヶ月前金壱圓五拾銭 一ヶ月前金壱圓五拾銭 一ヶ月前金壱圓五拾銭

●臺灣軍司令官 中将 菅野尚一氏 来る十一日午後一時半臺北発 台中飛行場へ向ふ

●臺灣軍参謀長 少将 岡部直三郎氏 来る十一日午後一時半臺北発 台中飛行場へ向ふ

●臺灣軍参謀 中佐 小林躋造

悲觀の要なき
國內油田價値
試掘は宜しく國家の手で

一、油田に於ける石油の產出額は數年來の一割强に止まり相當年數の後には外油の輸入に仰ぐる狀況であるが、その輸入額は年一億六千万圓にも達してゐる。されど一國の富の源を涵養して國防資源たるものが內を大にして外に求むる事の不可なるは勿論である。內地油田の調査開發、殊に油田の探鑛技術、代用燃料の研究生産、外國の輸入關稅障壁の緩和等に關する政策が强められつゝあるのであるが、だが併し我國に於ける石油の埋藏量は果して世人が夢みてゐる程に豐富なものであらうか、また內地油田の開發に關する現狀を見ると石油事業政策關係者共に百二十億圓、石油關係の一二四十億圓といふ巨額に達してゐる事實と、內地油田の開發が世界各國の七倍以上の高率で年々增進してゐるといふ事實とを考へる時、一方內地油田開發はといへば日本のそれは決して世界主要產油地に劣ることなく、否むしろ將來性と開發の難易等からも他の北に樺太から臺灣に至る五十億圓といふ巨額に亙つてゐるしたがら、その實開發に關する省の一億圓（全體の二割四十億圓といふ巨額に達してゐる事實と、內地油田の開發が世界各國の七倍以上の高率で年々增進してゐるといふ事實とを考へる時、一方內地油田開發はといへば日本のそれは決して世界主要產油地に劣ることなく、否むしろ將來性と開發の難易等からも他の北に樺太から臺灣に至る五十億圓といふ巨額に亙つてゐる

二、國內油田の開發に關する國民と政府の態度は川越總理第七次會議の際に詳述してあるがこれは極めて重要性を有するものだから諒解を深めて置く事が必要である。之が若し官營に於ける如き三千メートルにも及ぶ深掘りになると一本掘るに二十万圓以上の巨額を要し、三十万圓もの巨費を投ぜねばならぬ、而も果して油層に當り當てる保證は保險の限りでなく、內地では昭和二年以來の補助油井六十本のうち僅かに一本だけ成功したといふ程だけで危險率の高い事業である。

三、右の線が實現されて油田開發に從事する民間業者は期待せられ、內地に於ける試掘補助金を與へられ、油井一本當り三万六千円にしかならず、また官營に於けるニ七五歩の補助金とて探鑛一本分の費用にしか相當せず、それにしても官營探鑛費は本年度から二百三八万円に增額し油田の開發助成費といふ事實に於て內地とても一歩先んじた設備をとるに至つた事は確かであるが、尙且つ探鑛的の事業たるを免れない、即ち石油は天與國家の血液ともいふべき國防資源であり、代行せしむべしといふ論議になる、唯國宜上これを民間の資本に委ねるは多數の危險を冒すことは多大の危險を冒すことは多數の危險を冒すことは多數の危險を冒すことは多數

前途多難の比律賓糖業

獨立後の市場を何處に求めるか

臺灣としても重大關心事

台北製糖專務取締役　中村勘吉氏談

【臺灣】比律賓では四つの港に各一千噸の製糖工場を建設した。此工場には「オリンピルター」という新式の濾過器があり、普通の工場には能力千噸で二千俵入のピルターが一つあるのであるが、此のオリンピルターを用いると一台で千噸分の效果を擧げ此點で濾過され精汁はならない、併し台灣製糖は自給自足の態勢で進み、比律賓糖業は自給自足の態勢で進んでいるから、此の點に於ては比律賓糖業は臺灣に取つても比較にならない程の強敵である

臺灣では現在の處糖業は非常に潤つており、甘蔗の買收價格は斤當り二十七八錢や二七、二四錢らしいものが多く、製糖業者は立つ方も立つ方も儲かるので、サカ台灣を風靡したわけであるが、比律賓では米國の資本に依つて開發され無稅の惠澤を受けた大部分米國へ輸出されその差額は大概後者丈に歸するのであるが、五年ほどの米國輸出を八十万噸程度に制限され、爪哇其他に比し生產費が高いだけに餘剩糖を支那其他佛洋方面へ輸出するも意の如く行かねといふ苦みがあり勢ひ產糖制限の除儀なきに至つたのであるが、獨り此後に一層制限に惡る噂がある　即ち昨年から五年目までは

米國（無稅で輸出される）が六年目には輸入稅の五分、七年目には一割、八年目から一割五分十年目には二割五分を課せられ完全に獨立した十一年目からは他の外國糖と同樣何等優遇なく全額を課せられることになつてゐる　生產費高く而も米國までの運賃關稅もあるまい、二八七八樣や二七一四號は無論に向く島嶼だから餘り比律賓の氣候風土に好適してゐるのでないかと思はれる、比律賓は獨立後も經濟的には尙米國に依存する個所がある、又米國に

依存　しなければ立つて行けないやうな事情にある丈は同居糖業の將來を考へても明かである

目までは

米國（無稅で輸出される）が六年目には輸入稅の五分、七年目には一割、八年目から一割五分十年目には二割五分を課せられ完全に獨立した十一年目からは他の外國糖と同樣何等優遇なく全額を課せられることになつてゐる　生產費高く而も米國までの運賃關稅もあるが、獨り此後に一層制限に惡る噂がある　即ち昨年から五年